

2022/08/12

高齢ドライバーの安全と健康を維持できる社会の実現に向け、 認知機能や日常の体調変化と運転能力との関係性検証の共同研究契約を締結

本田技研工業株式会社
エーザイ株式会社
国立大学法人大分大学
一般社団法人臼杵市医師会

本田技研工業株式会社（以下、Honda）、エーザイ株式会社（以下、エーザイ）、国立大学法人大分大学（以下、大分大学）、一般社団法人臼杵市医師会（以下、臼杵市医師会）は、このたび、高齢ドライバーの認知機能や日常の体調変化と、運転能力との関係性について検証をするための共同研究契約を締結しました。

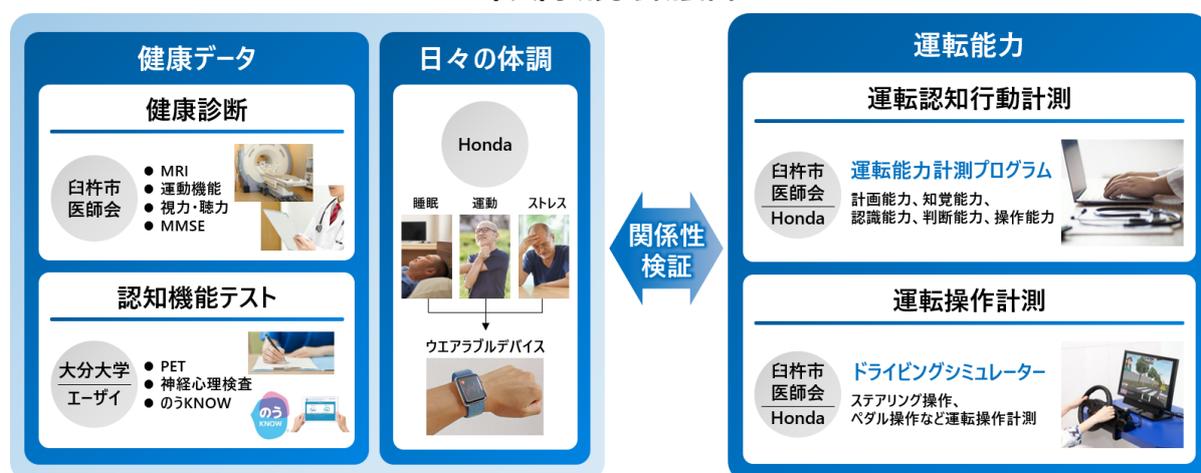
近年、高齢化が進み、年齢による体調や運転能力への不安を理由に運転免許を返納することで移動の不便を感じる QOL（クオリティー・オブ・ライフ）の低下が社会的な課題となっています。

本共同研究では、日常の体調と運転中の状態を常に見守り、一人ひとりに合わせた安全と安心を提供することで、高齢ドライバーの安全と健康の維持向上、またそのご家族や地域の皆さまも安心して生活ができる事故ゼロ社会の実現をめざします。

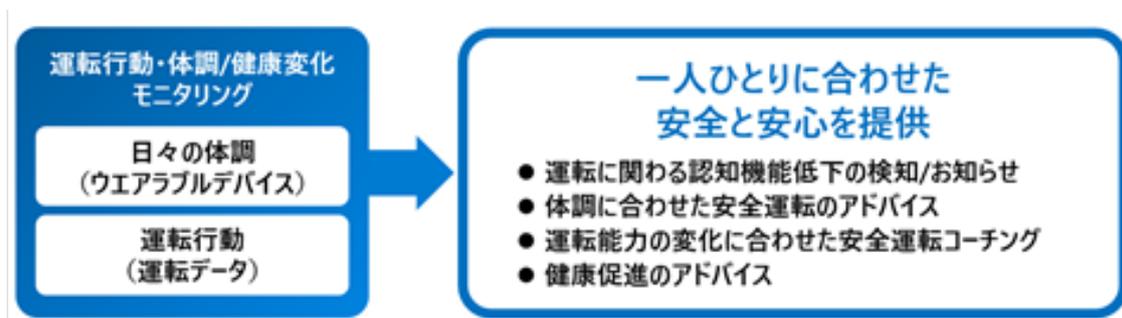
【本共同研究の主な取り組み】

健康データを収集するために、臼杵市医師会立市民健康管理センターにて健康診断と認知機能テストの一部を、大分大学医学部神経内科学講座にて主に認知機能テストを実施します。認知機能テストには臨床診断のための画像検査と神経心理学的検査に加えて、エーザイの脳の健康度セルフチェックツール^{※1}を使用します。同時に、日々の体調データを、対象者が装着するウェアラブルデバイスを用いて測定します。また、運転能力（運転認知行動と運転操作）を、臼杵市医師会立コスモス病院にて、Honda のドライバー行動・状態モニタリング研究技術を活用したツール^{※2}を使い計測することで、健康データや日々の体調と運転能力がどのような関係性を有しているのかを検証します。

本共同研究の概要図



今後、本共同研究で得られた成果を生かして、日々の体調や運転行動などをモニタリングすることで、体調不良や運転に関わる認知機能低下の検知とお知らせの他、体調や運転能力の変化に合わせた安全運転のアドバイス、健康促進のアドバイスを行うことを検討するなど、一人ひとりに合わせた安全と安心を提供できるよう、新たなソリューションの創出へ取り組んでいきます。



■実証実験概要

実施期間：2022年9月1日～2023年3月31日

対象者：大分県臼杵市に住む65歳以上の方（100名）

実施主体：Honda、エーザイ、大分大学、臼杵市医師会

※1 脳の健康度のセルフチェックツール「のう KNOW」(非医療機器)は、Cogstate Ltd. (本社：オーストラリア) が創出したアルゴリズムに基づきエーザイが開発した脳の健康度 (ブレインパフォーマンス) のセルフチェックツールであり、エーザイが全世界における開発権および独占的商業化権を有しています。PC等を用いた簡便なトランプテストによって、脳の反応速度、注意力、視覚学習および記憶力を、テストすることができます。

詳細はホームページをご参照ください

<https://nouknow.jp/>

※2 Honda のシミュレーター技術を最大限に活用し、「だれでも、楽しみながら、さまざまな交通状況が体験学習できる」というコンセプトで開発された簡易型ドライブシミュレーター「Honda セーフティナビ」を改良し運転操作を計測、また、運転に関わる認知行動などの能力をオリジナルプログラムにて計測します。

詳細はホームページをご参照ください

<https://www.honda.co.jp/safetyinfo/simulator/safetynavi/>